

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票
令和7年7月1日（第1回）

沼津市地域自治課

目次

政策推進部 地域自治課	1
総務部 人事課	20
政策推進部 政策企画課	23
政策推進部 広報課	24
政策推進部 生活安心課	25
政策推進部 ICT 推進課	26
財務部 資産活用課	27
財務部 契約検査課	28

推進調査票 記入例 (印刷時に文字切れが無いか、必ず確認してください)

推進調査票記入手順

①前年度に提出した調査票を最新化してください。（過去の事前質問や委員会で聞かれた内容は必ず調査票に反映してください）
 データ保管場所：公開ライブプラリ>政策推進部>地域自治課>協働推進係>男女共同参画>R6推進調査票

②【必須事項】令和6年度実施状況等について、黄色塗 の部分を記入してください。

③【任意事項】その他の部分で変更が生じる場合には赤字修正としてください。
 （1 事業の目的、2 特に男女共同参画（女性活躍・DV防止）の視点で取り組むところ、4 計画期間内の取組内容のうち令和7年度の実施予定内容、5 連携が必要な機関、6 新型コロナ以降の課題 において、過去の委員会の意見等を反映するなどして内容に変更が生ずる場合）

※ （青色塗 部分）基本理念、基本的施策、施策の方針及び施策の内容は、計画書記載事項のため、変更しないでください。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	蒲生 2282

基本理念	基本的施策	施策の方針	施策の内容
青塗 <input type="checkbox"/> 部分は、計画書に記載されている内容のため変更しないでください			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	A
実績	A	A	A	A	

1 事業の目的

男女共同参画を進めるための啓発を推進する中で、公共性の高いメディアで表される表現について点検指導し、性別による固定的な役割分担意識等を解消していくことで男女共同参画社会の実現を目指す。

令和6年度の実績に対する評価を記入

取組状況（男女共同参画の視点から）

A : 計画どおり取り組みができた
 B : 概ね計画どおり取り組みができた
 C : 取り組みが不十分であった
 D : 取り組みができなかった

実績（男女共同参画の視点から）

A : 想定以上の実績
 B : 想定どおりの実績
 C : 想定以下の実績

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治課を経由して地区センター等に配架する「市が発行する文書」 <p>【チェック項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女いずれかに偏った表現になっていないか 性別によってイメージを固定化した表現になっていないか 性別に関わらず対等な関係で描いているか 性別で異なった表現を使っていないか 女性をむやみに「アイキヤッチャー」にしていないか <p>・令和5年度は2件、市が主催する「体操教室」のチラシの写真に写る複数の人物が「女性のみ」だったため、来年度から男性が参加している写真も掲載してもらうよう指導を行った。（当該教室は性別に関わらず誰もが参加できるイベント）</p>
	<p>令和6年度の男女共同参画に関する取組実績を記入</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域自治課にて確認できる範囲にて確認を行った。 今後も必要に応じて国や県のガイドラインを周知、啓発する。 <p>令和6年度の取組に対する評価・課題等を記入</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
6年度	活動指標 各課への周知・指導	モニタリング指標	2	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間のPR 県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標 修正した表現の数	モニタリング指標	なし	○回/年度	

令和6年度の活動指標・成果指標の実数値及び実施済内容を記入

5 連携が必要な機関

1 広報課	府内
2 関係各課	府内
3	
4	

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	望月(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
I	II	1	人権を尊重するための意識啓発			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	A	A	A	A	

SDGsのゴール				
4	5	8	16	

1 事業の目的

男女共同参画を進めるための啓発を推進する中で、公共性の高いメディアで表出される表現について点検指導し、性別による固定的な役割分担意識等を解消していくことで男女共同参画社会の実現を目指す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別による固定的な役割分担、偏った表現、特有な表現、弱者を連想させる表現及び性的な表現を行わないようチェック・指導する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 全庁に向けて「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を示し、啓発を行った。 地域自治課を経由して地区センター等に配架する「市が発行する文書・チラシ等」について、チェックを実施した。 【チェック項目】 <ul style="list-style-type: none"> 男女いずれかに偏った表現になっていないか 性別によってイメージを固定化した表現になっていないか 性別に関わらず対等な関係で描いているか 性別で異なった表現を使っていないか 女性をむやみに「アイヤッチャー」にしていないか 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、広報ぬまづ11月1日号に掲載し、啓発した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治課にて確認できうる範囲にて確認を行った。 今後も必要に応じて国や県のガイドラインを周知、啓発する。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各課への周知・指導	モニタリング指標	1	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間のPR 県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標	修正した表現の数	モニタリング指標	なし	〇回/年度	
4年度	活動指標	各課への周知・指導	モニタリング指標	2	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動のPR 県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標	修正した表現の数	モニタリング指標	なし	〇回/年度	
5年度	活動指標	各課への周知・指導	モニタリング指標	0	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動のPR 県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標	修正した表現の数	モニタリング指標	なし	〇回/年度	
6年度	活動指標	各課への周知・指導	モニタリング指標	0	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動のPR 県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知、他機関が主催する人権セミナーや募集する助成制度などの情報提供
	成果指標	修正した表現の数	モニタリング指標	なし	〇回/年度	
7年度	活動指標	各課への周知・指導	モニタリング指標		個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発に関するチラシの窓口配架 男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動のPR 県弁護士会による無料電話法律相談「女性の権利110番」の周知 他機関が主催する人権セミナーや募集する助成制度などの情報提供 広報ぬまづなどの市が編集する刊行物・ホームページ、試験的に活用をはじめたSNSなどの情報ツールにおける表現方法のチェック 他県・市町村における広報物等の表現方法の取り組みの調査研究
	成果指標	修正した表現の数	モニタリング指標		〇回/年度	

5 連携が必要な機関

1	広報課	庁内
2	関係各課	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。
------	---	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	山田(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
I	II	3	多様な性のあり方の尊重				SOGI・性的マイノリティに関するスムーズな相談対応の体制づくりを行うとともに、教育や就労の場などにおいて多様な性のあり方を尊重する学習機会の提供や情報発信を行う。			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	A	A	A	A	

SDGsのゴール				
3	4	5		

1 事業の目的

多様な性の在り方を尊重するため、性的マイノリティに関する相談窓口や正しい性知識や性的マイノリティについての理解・尊重のための学習機会の提供・啓発を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

多様な性の在り方は、人権の尊重や平等を基本とする男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき課題であるため、性的マイノリティについての相談窓口や理解・尊重のための学習機会の提供・啓発に努める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布。 ・教職員組合が実施する男女共同参画に関する学習会において、課職員による講話を行った。参加者50名(教職員) ・市職員向け(係長級以上)に性の多様性研修を行い、「自分らしく生きるため、大切にしたい性のあり方～多様な性とともに輝くまちをめざして！～」をテーマに、小谷 しずく 氏(しずおか虹と風の谷 代表)を講師に招き、研修を実施。参加者91名(市職員) ・新規採用市職員向けに、「沼津市性の多様性サポートハンドブック」を活用し、研修を実施。参加者51名(新規採用市職員) ・高校生を対象とした沼津市男女共同参画出張講座の開催に向け、市内各高校や県教育委員会に周知(資料配布および訪問)を図ったが、希望する高校が無く、実施に至らなかった。 ・性の多様性セミナーを開催し、「LGBTQから見た多様性」をテーマに、井上 健斗 氏(株式会社G-pit)を講師に招き、セミナーを開催。参加者29名(沼津市男女共同参画推進委員、沼津市男女共同参画推進事業所の方、一般市民、教育関係者、市議会議員など) ・静岡県パートナーシップ宣誓制度の周知を図った。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な性の在り方について理解を広めるため、教職員や市職員に向けた講話や研修を実施するとともに、どなたでも参加可能な市民に向けた性の多様性セミナーを実施した。 ・パートナーシップ宣誓カップルに提供可能な行政サービスの周知を図った。 ・改善点として、高校生を対象とした沼津市男女共同参画出張講座について、各高校や県教育委員会に、前年度中に周知を実施するなど改善し、実施に向けて引き続き、取り組む。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 セミナー実施回数	1回/年度	1	1回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布 ・若年世代の正しい教育へつながる、教職員向けセミナーでの解説
	成果指標 「性的マイノリティ(LGBT)」の認知率	モニタリング指標	-	言葉も意味も知っている(R6市民アンケート調査)	
4年度	活動指標 セミナー実施回数	1回/年度	2	1回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布 ・若年世代の正しい教育へつながる、教職員向けセミナーでの解説 ・市民対象のシンポジウムの他、市職員向けの研修を幹部職員から開始した。
	成果指標 「性的マイノリティ(LGBT)」の認知率	モニタリング指標	-	言葉も意味も知っている(R6市民アンケート調査)	
5年度	活動指標 セミナー実施回数	1回/年度	5	1回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布 ・若年世代の正しい教育へつながる、教職員向けセミナーでの解説や高校生を対象とした出張講座を開催した。 ・市民対象のセミナーのほか、市職員に対する研修を実施した。
	成果指標 「性的マイノリティ(LGBT)」の認知率	モニタリング指標	0	言葉も意味も知っている(R6市民アンケート調査)	
6年度	活動指標 セミナー実施回数	1回/年度	4	1回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布 ・若年世代の正しい教育へつながる、教職員向けセミナーでの解説を実施した。 ・市民対象のセミナーのほか、市職員に対する研修を実施した。
	成果指標 「性的マイノリティ(LGBT)」の認知率	モニタリング指標	80.0%	言葉も意味も知っている(R6市民アンケート調査)	
7年度	活動指標 セミナー実施回数	1回/年度		1回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体が発行する資料の展示、配布 ・若年世代の正しい教育へつながる、教職員向けセミナーでの解説
	成果指標 「性的マイノリティ(LGBT)」の認知率	モニタリング指標		言葉も意味も知っている(R6市民アンケート調査)	

5 連携が必要な機関

1	社会福祉課	府内
2	市民相談センター(生活安心課)	府内
3	静岡県 男女共同参画課	国・県
4	NPO法人 メリメロ	NPO等

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大中のセミナー開催や対面による相談は困難が予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	望月(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
I	II	1	4	男女共同参画推進のための情報発信・情報提供				男女共同参画推進のための基礎データを収集するとともに、定期的な調査を実施し現状把握を行う。	

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	A	
実績	B	B	B	A	

SDGsのゴール			
5	8	11	

1 事業の目的

本市における男女共同参画社会の形成の状況について、市民の認識等を明らかにし解決すべき問題点を把握するとともに、計画の進捗状況を確認し次期計画策定の基礎資料とする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女共同参画における基本的な指標のほか、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革や性的マイノリティについても調査・データ収集する。(DV防止関連の数値やモニタリング調査は主に社会福祉課にて実施)

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画地域づくり講座(第四地区東)、フォローアップ講座(金岡地区)、男女共同参画の各種セミナー等において、参加者へ男女共同参画に関するアンケート調査を実施した。 静岡県男女共同参画白書、男女共同参画に関する県民意識調査報告書等の基礎データを収集した。 第6次計画策定に向けた基礎資料とするため男女共同参画に関する市民アンケートを実施した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートを実施し、本市における男女共同参画に関する現状や、意識は変わりつつあるものの、固定的性別役割分担が根強く残っているといった課題を把握することができた。 特定の地区におけるアンケート調査を行うことで地域の特性等を把握することができた。 事業所に向けた調査により企業の抱える課題を把握し、沼津市男女共同参画推進事業所制度の効果を高める取組を検討する。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 市民アンケート調査	-	-	1回/5年間	・地区の講座等におけるアンケート
	成果指標 固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合	-	-	R6市民アンケート調査	
4年度	活動指標 市民アンケート調査	-	-	1回/5年間	・地区の講座等におけるアンケート
	成果指標 固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合	-	-	R6市民アンケート調査	
5年度	活動指標 市民アンケート調査	-	-	1回/5年間	・地区の講座等におけるアンケート
	成果指標 固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合	-	-	R6市民アンケート調査	
6年度	活動指標 市民アンケート調査	1回	1	1回/5年間	・市民アンケート(5年に1度) ・地区の講座等におけるアンケート
	成果指標 固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合	80%以上	76.10%	R6市民アンケート調査	
7年度	活動指標 市民アンケート調査	-	-	1回/5年間	・企業の抱える課題を把握するためのアンケート
	成果指標 固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合	-	-	R6市民アンケート調査	

5 連携が必要な機関

1	社会福祉課	庁内
2	商工振興課	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナによる新たな取り組み、離職、生活困窮やDVの影響等に関するデータや情報を収集し関係課と情報共有する。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	望月(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容			
I	II	1	4	男女共同参画推進のための情報発信・情報提供				SNS・ホームページなどを利用した啓発活動を行い、あらゆる分野の男女共同参画の意識改革を促し、具体的な取り組みの掘り起しを行う。	

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	10			

1 事業の目的

様々な情報媒体を通じて、多くの市民に事業・イベントなどの告知や情報提供を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・市の男女共同参画に係る取り組みを常にPRしていく。
- ・地域・職場・教育など、あらゆるところでの男女共同参画の取り組みを掘り起し、市民へPRしていく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市の男女共同参画広報紙「ハーモニー」の発行。 ・市の公式アカウントを利用したSNS、市HPを通して取り組みをPRした。 ・家庭で取り組む男女共同参画の動画を作成し、健康づくり課が実施するパパママ教室で動画の視聴を行った。 <p>【周知内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種セミナーの告知、セミナーの告知、職業講話の実績報告、男女共同参画推進事業所の紹介 等
評価／改善点	読者や閲覧者の興味を引くような情報発信を心掛ける。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 先進事例やロールモデルの情報収集	各1回	1	各1回/年度	・広報ぬまづ、市HP、男女共同参画広報紙などを活用し、行政・市民・地域・団体などの活動をPRした。
	成果指標 メディア化して発信を行う	2	2	2回/年度	
4年度	活動指標 先進事例やロールモデルの情報収集	各1回	1	各1回/年度	・広報ぬまづ、市HP、男女共同参画広報紙などを活用し、行政・市民・地域・団体などの活動をPRした。
	成果指標 メディア化して発信を行う	2	2	2回/年度	
5年度	活動指標 先進事例やロールモデルの情報収集	各1回	1	各1回/年度	・広報ぬまづ、市HP、男女共同参画広報紙などを活用し、行政・市民・地域・団体などの活動をPRした。
	成果指標 メディア化して発信を行う	2	2	2回/年度	
6年度	活動指標 先進事例やロールモデルの情報収集	各1回	1	各1回/年度	・広報ぬまづ、市HP、男女共同参画広報紙などを活用し、行政・市民・地域・団体などの活動をPRした。 ・家庭で取り組む男女共同参画の動画を作成し、他課の事業にて視聴を行った。
	成果指標 メディア化して発信を行う	2	2	2回/年度	
7年度	活動指標 先進事例やロールモデルの情報収集	各1回		各1回/年度	・広報ぬまづ、市HP、男女共同参画広報紙などを活用し、行政・市民・地域・団体などの活動をPRしていく。
	成果指標 メディア化して発信を行う	2		2回/年度	

5 連携が必要な機関

1	広報課	府内
2	商工振興課	府内
3	事業所	事業所
4	静岡県男女共同参画課	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大中の対面取材は困難が予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	横井(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
III	4	9	市の審議会等への女性の参画拡大				本市審議会等への女性の参画拡大のため、「沼津市附属機関及び懇話会の運営に関する指針」に則り、各課への指導及び周知を行う。(目標:女性委員登用率35%)			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	16	17		

1 事業の目的

本市の審議会等への女性の参画機会の拡大を図り、市の施策や方針決定にあたり、女性の意見をより反映させる。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

本市の施策の決定過程への女性の参画機会や役割を拡大し、新たな発想や価値観等を施策に反映するため、積極的な女性委員の登用に努め、適切な男女比率となるよう指導する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>・27年4月1日から運用を開始した「沼津市附属機関及び懇話会の運営に関する指針」に基づき、審議会等の委員の選任時には、地域自治課への事前協議を行うこととし、女性委員登用率35%に達していない場合は、その理由を明らかにし、どのように女性委員を増やしていくか今後の展望を示すように指導した。</p> <p>女性登用率(令和7年3月末) 委員総数:1,362人 (前年比 -158人) 女性委員:401人 (前年比 -40人) 登用率 :29.4% (前年比 +0.4%)</p>
評価／改善点	<p>・R6年度の目標値である女性委員登用率34%には到達できなかった。 ・専門性を必要とする委員は、委員資格を有する組織自体に女性がいない場合があるが、特に理由が無い場合は登用率が達成できるよう、今後も指針に基づき事前協議にて庁内各課を指導し、令和7年度の女性委員登用率35%を目指し、改善していく。 ・庁内の審議会等の女性委員の割合の現状を整理した。(R7.4実施の市長・副市長・部長級が参加する第1回沼津市男女共同参画推進本部にて説明するとともに、各課所属長宛に通知し、女性委員登用率向上に向け、管理職の意識醸成を図った)</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 各課への取り組みの周知	3回/年度	1	3回/年度	各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図った。全庁的な周知は年度当初の1回であったが、事前協議の書類が提出された際、その都度、積極的な女性委員の登用等について指導を行った。
	成果指標 市審議会等への女性登用率	31%	30.50%	女性委員/総委員数	
4年度	活動指標 各課への取り組みの周知	3回/年度	1	3回/年度	各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図った。全庁的な周知は年度当初の1回であったが、事前協議の書類が提出された際、その都度、積極的な女性委員の登用等について指導を行った。
	成果指標 市審議会等への女性登用率	32%	30.70%	女性委員/総委員数	
5年度	活動指標 各課への取り組みの周知	3回/年度	1	3回/年度	各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図るとともに、委員の委嘱について指導を行う。
	成果指標 市審議会等への女性登用率	33%	29.00%	女性委員/総委員数	
6年度	活動指標 各課への取り組みの周知	3回/年度	1	3回/年度	・各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図るとともに、委員の委嘱について指導を行った。 ・庁内の審議会等の女性委員の割合の現状を整理した。
	成果指標 市審議会等への女性登用率	34%	29.40%	女性委員/総委員数	
7年度	活動指標 各課への取り組みの周知	3回/年度		3回/年度	各審議会等の運営が適正に行われるよう、指針の周知徹底を図るとともに、委員の委嘱について指導を行う。
	成果指標 市審議会等への女性登用率	35%		女性委員/総委員数	

5 連携が必要な機関

1	関係各課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	望月(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
III	4	9	市の審議会等への女性の参画拡大				女性を対象とした研修などを通じて、政策・方針決定の場へ参画できる人材を育てる。また、政治分野への女性活躍を目的としたセミナーを開催する。			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	A	A	
実績	C	B	A	B	

SDGsのゴール				
5	11	16		

1 事業の目的

地域が抱える課題について、従来のように自治会役員で考えるのではなく、年齢・性別に関わらず多くの住民同士で話し合える体制をつくり、課題の解決に向けて自主的に活動できる人材を育成する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

女性の積極的な参加を呼びかけ、地域課題について考える経験の場を提供するとともに、女性の意思決定の重要性について認識を深める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市男女共同参画推進事業所フォローアップセミナーを開催し、「働き方の『いま』と『これから』—自分を知る、制度を知る—」をテーマに、塩崎 久美子氏(静岡働き方改革推進支援センター派遣講師・特定社会保険労務士)を講師にお招きし、事業所に対する働き方改革に向けた意識啓発を行った。参加者:28人 ・「協働のまちづくりセミナー」を開催し、「やってみよう、話し合う地域づくり」をテーマに、宮坂 里司 氏(NPO法人みらい建設部)を講師にお招きし、地域の課題解決には、年齢・性別に関わらず、住民同士の協働で解決することができること、性別に関係なく企画段階から参画することの重要性について意識啓発を行った。参加者:47人 ・市内小中学校の生徒に、男女の平等意識や人権を尊重することの大切さや、性別にかかわりなく一人ひとりがその能力を伸ばし、進路について幅広く選択できるよう学習の機会を提供し、男女共同参画意識を浸透させることを目的に、男女共同参画推進事業所の方や市職員等が講師になり、職業講話を行った。
評価/改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、他市町の事例等を参考にするなど、多様な開催方法に対応した企画を行う必要がある。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 人材育成の場の提供	1	1	○回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員と全市民向けに協働のまちづくりを担う人材を育成するための講座を開催 ・政治分野への女性活躍を目的としたセミナーの開催を企画したが、新型コロナウイルス感染防止対策のため開催中止
	成果指標 女性の意思決定の重要性についての認識の割合の向上	モニタリング指標	-	講座やセミナーにおけるアンケート	
4年度	活動指標 人材育成の場の提供	1	1	○回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員と全市民向けに協働のまちづくりを担う人材を育成するための講座を開催 ・職業講話にて、政治分野で活躍する女性から直接話を聞く機会を提供することができた。
	成果指標 女性の意思決定の重要性についての認識の割合の向上	モニタリング指標	-	講座やセミナーにおけるアンケート	
5年度	活動指標 人材育成の場の提供	1	2	○回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市男女共同参画推進事業所フォローアップセミナーを開催 ・市職員と全市民向けに協働のまちづくりを担う人材を育成するための講座を開催
	成果指標 女性の意思決定の重要性についての認識の割合の向上	モニタリング指標	94.6%	講座やセミナーにおけるアンケート	
6年度	活動指標 人材育成の場の提供	1	2	○回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市男女共同参画推進事業所フォローアップセミナーを開催 ・市職員と全市民向けに協働のまちづくりを担う人材を育成するための講座を開催
	成果指標 女性の意思決定の重要性についての認識の割合の向上	モニタリング指標	85.1%	講座やセミナーにおけるアンケート	
7年度	活動指標 人材育成の場の提供	1		○回/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市男女共同参画推進事業所フォローアップセミナーを開催 ・市職員と全市民向けに協働のまちづくりを担う人材を育成するための講座を開催 ・政治分野への女性活躍を目的としたセミナーの開催
	成果指標 女性の意思決定の重要性についての認識の割合の向上	モニタリング指標		講座やセミナーにおけるアンケート	

5 連携が必要な機関

1	商工振興課	庁内
2	議会事務局	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	セミナー開催については、十分な感染症対策を講じる。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	青木(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
III	4	11	企業・各種団体における女性の積極的登用			女性の管理職への登用で得られる新しい価値の創造、女性労働者の意欲向上、企業イメージの向上など、多くのメリットを企業・各種団体等が生かせるよう啓発する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8	9	10	

1 事業の目的

企業及び就労者向けに、社会における人材不足対策、生産性を上げるために女性の管理職登用の重要性を啓発する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

女性の管理職への積極的な登用などに関する情報を提供し啓発する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	・「男女共同参画推進事業所紹介冊子」を市HP、市内企業の就職情報サイト「ぬまjob」へ掲載したほか、商工会議所や地区センターへの配架を行い周知に努めた。
評価／改善点	・紹介冊子を周知する以外に、どのように啓発を行っていくかが課題である。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 情報収集・メディア化発信	2回/年	2	2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 1件、情報発信 1件
	成果指標 推進事業所の女性管理職登用率(課長級以上)	-	-	女性管理職数/全体管理職数	<ul style="list-style-type: none"> ・新規認定事業所に対し、課長級以上の女性管理職登用率を上げる目標を立てているか確認
4年度	活動指標 情報収集・メディア化発信	2回/年	1	2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 1件
	成果指標 推進事業所の女性管理職登用率(課長級以上)	-	-	女性管理職数/全体管理職数	<ul style="list-style-type: none"> ・新規認定事業所に対し、課長級以上の女性管理職登用率を上げる目標を立てているか確認
5年度	活動指標 情報収集・メディア化発信	2回/年	1	2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 1件
	成果指標 推進事業所の女性管理職登用率(課長級以上)	-	-	女性管理職数/全体管理職数	<ul style="list-style-type: none"> ・新規認定事業所に対し、課長級以上の女性管理職登用率を上げる目標を立てているか確認
6年度	活動指標 情報収集・メディア化発信	2回/年	1	2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 1件
	成果指標 推進事業所の女性管理職登用率(課長級以上)	20%	4%	女性管理職数/全体管理職数	<ul style="list-style-type: none"> ・新規認定事業所に対し、課長級以上の女性管理職登用率を上げる目標を立てているか確認
7年度	活動指標 情報収集・メディア化発信	2回/年		2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・認定事業所への情報提供 ・新規認定事業所に対し、課長級以上の女性管理職登用率を上げる目標を立てているか確認 ・認定事業所へのアンケート調査
	成果指標 推進事業所の女性管理職登用率(課長級以上)	-		女性管理職数/全体管理職数	

5 連携が必要な機関

1	広報課	庁内
2	商工振興課	庁内
3	事業所	事業所
4	静岡県男女共同参画課	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大中の対面取材は困難が予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	望月(2282)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
III	5	12	地域社会における女性の参画拡大			「地域づくり講座」を開催し、地域住民が地域活動を通して、主体的に男女共同参画に取り組めるよう、地域での環境づくりを支援する。				

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	A	A	A	A	

SDGsのゴール				
5	10	11	16	

1 事業の目的

地域における男女共同参画を推進していくため、地域や地域の人々が抱える幅広い分野の課題を取り上げ、男女共同参画の視点を活かしながら、多様な主体が連携・協働して課題を解決する実践的活動を行う。地域における学習機会を提供することで、地域活動に男女共同参画の視点を取り入れ、男女共同参画の環境づくりを支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

少子高齢化の進行や人間関係の希薄化、単身世帯の増加などの課題を抱える地域において、市民一人ひとりが個性を尊重し、また尊重されながら主体的に地域活動へ参画し、男女共同参画が普及・浸透するよう実践的な学習機会の提供により地域力を高め、持続可能な社会を形成する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	「地域づくり講座」として「男女共同参画の視点からの避難所運営」をテーマとし、男女共同参画に関する基礎講座やグループワークを実施し、地区内の男女共同参画意識のさらなる浸透、定着化を図った。 第四地区東 地域づくり講座 4回(会場開催) ・男女共同参画視点の避難所設営をテーマに、2回目までに座学とディスカッションにより基礎知識を学び、3回目以降は避難所のシミュレーション及び発表を行った。 金岡地区 フォローアップ講座 2回(会場開催) ・1回目は基礎復習として座学講座、2回目は避難所運営マニュアルについてグループワーク・発表を行った。
	・第四地区東では、地区住民自らが主体的に訓練等に取り組む流れができた。 ・金岡地区では、昨年度からの集大成として、避難所運営マニュアルの見直しを実践することができた。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	地域づくり講座実践地区	1	1	○地区/年度
	成果指標	地域づくり講座実践地区	10	10	延べ○地区
4年度	活動指標	地域づくり講座実践地区	1	1	○地区/年度
	成果指標	地域づくり講座実践地区	11	11	延べ○地区
5年度	活動指標	地域づくり講座実践地区	1	1	○地区/年度
	成果指標	地域づくり講座実践地区	12	12	延べ○地区
6年度	活動指標	地域づくり講座実践地区	1	1	○地区/年度
	成果指標	地域づくり講座実践地区	13	13	延べ○地区
7年度	活動指標	地域づくり講座実践地区	1		○地区/年度
	成果指標	地域づくり講座実践地区	14		延べ○地区

5 連携が必要な機関

1	地区コミュニティ・自治会	自治会
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	セミナー開催については、十分な感染症対策を講じる。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	横井(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
IV V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現				男性の育児・家事・介護等のケアワークで活躍できるよう、必要な知識・技術を身につける講座開催などの企画や情報の提供を行う。			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	B	C	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5			

1 事業の目的

家族を構成する男性が、家庭や地域における責任と役割を主体的に担う意識啓発とともに、家事・育児・介護等への男性の参加促進を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

体験型講座により主体的参画のきっかけとなるよう工夫する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>・令和6年度 家事シェア応援セミナー「家族のための美味しい時間」 日 時：令和7年1月19日（日） 10時～13時 場 所：金岡地区センター 実施内容：①プロが教える鍋一つで仕上げる男メシ・②おから味噌仕込み 講 師：①株式会社風土 代表 徳丸 英純・②食育指導士 土田 愛美 参加者：41人（①：男性16人・②配偶者11人及び子14人） 内 容：市民を対象に開催。男性が家事や育児に取り組むことについての意義を伝えるセミナーを開催して、女性に偏りがちな家事・育児の負担を減らすとともに、男性の働き方を見直すきっかけとすることで、男女双方のワーク・ライフ・バランスの実現を図った。今回は男性だけでなく、配偶者と子どもを対象としたワークショップを同時に実施したこと、家族でワーク・ライフ・バランスを見直す契機とする構成とした。</p>
評価／改善点	<p>・これまで男性のみを対象としてきたが、今年度は配偶者と子供を対象としたワークショップを同時開催。家族での参加としたことで、家族で男女共同参画について考える契機となった。 ・一方で、男性の参加人数だけに注目すると、前年度(33人)の半数程度となってしまったことから、男性一人だけでも参加しやすい開催方法の検討等が必要である。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	父親が家事・育児を体験したり考えるきっかけとなる講座・セミナーを実施
	成果指標 男性の家事関連時間	-	-	1日当たりの家事関連時間 (R6市民アンケート調査)	
4年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	父親が家事・育児を体験したり考えるきっかけとなる講座・セミナーを実施
	成果指標 男性の家事関連時間	-	-	1日当たりの家事関連時間 (R6市民アンケート調査)	
5年度	活動指標 セミナー開催数	2回/年度	1	2回/年度	父親が家事・育児を体験したり考えるきっかけとなる講座・セミナーを実施
	成果指標 男性の家事関連時間	-	-	1日当たりの家事関連時間 (R6市民アンケート調査)	
6年度	活動指標 セミナー開催数	2回/年度	1	2回/年度	父親が家事・育児を体験したり考えるきっかけとなる講座・セミナーを実施
	成果指標 男性の家事関連時間	2時間30分	1時間36分	1日当たりの家事関連時間 (R6市民アンケート調査)	
7年度	活動指標 セミナー開催数	2回/年度		2回/年度	父親が家事・育児を体験したり考えるきっかけとなる講座・セミナーを実施
	成果指標 男性の家事関連時間	-		1日当たりの家事関連時間 (R6市民アンケート調査)	

5 連携が必要な機関

1	子育て支援課	府内
2	健康づくり課	府内
3	農林農地課	府内
4	男女共同参画推進認定事業所	事業所

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大中のセミナー開催や対面による相談は困難が予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	青木(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	7	16	女性活躍に理解ある事業所の取組推進					男女共同参画に積極的に取り組む事業所の認定の拡大を図る。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール					
5	8	9	10	11	

1 事業の目的

仕事と家庭の両立に配慮し、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業所を認定し、意見交換等の情報を発信することにより、雇用・労働条件確保のための施策の推進や、能力による採用と配置を促す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

職場で特定の性別が不当な待遇を受けないように周知啓発を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市男女共同参画推進認定事業所の募集・審査・認定を行った。(令和6年度実績 新規認定3事業所、累計111事業所) ・既存事業所のポスターの周知、事業所募集による制度の周知、新規認定事業所の周知、PR冊子の作成等を行った。 ・沼津市男女共同参画推進認定事業所の認定を受けるメリットの創出に取り組んだ。 ・他課と連携し未開拓業種(交通事業者)へ働きかけを行った。
評価/改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末に115事業所認定の目標に向け、推進事業所の認定数は順調に増加している。 ・推進事業所の認定状況や活動内容について、庁舎大型掲示板や沼津駅前地下室ショーケースを利用した掲示、PR冊子の作成、市HPへの掲載といった広報活動を行った。 ・認定を受けるメリット創出に繋がることができた。(R7.4.1～「沼津市男女共同参画推進事業所」の従業員の方は、沼津信用金庫のローン金利の優遇を受けることが可能となった)

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	推進事業所の広報 関係する情報の提供	4回以上/年	4回以上	○回以上/年
	成果指標	認定事業所の累計	95	97	累計○社
4年度	活動指標	推進事業所の広報 関係する情報の提供	4回以上/年	4回以上	○回以上/年
	成果指標	認定事業所の累計	100	103	累計○社
5年度	活動指標	推進事業所の広報 関係する情報の提供	4回以上/年	4回以上	○回以上/年
	成果指標	認定事業所の累計	105	108	累計○社
6年度	活動指標	推進事業所の広報 関係する情報の提供	4回以上/年	4回以上	○回以上/年
	成果指標	認定事業所の累計	110	111	累計○社
7年度	活動指標	推進事業所の広報 関係する情報の提供	5回以上/年		○回以上/年
	成果指標	認定事業所の累計	115		累計○社

5 連携が必要な機関

1	商工振興課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	内容
			テレワーク等でのワーク・ライフ・バランス好事例の情報収集・発信を行う必要がある

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	横井(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容				
IV V	7	18	男性の働き方と職場風土の改革				働き方改革に関する企画や研修を開催するとともに、ワーク・ライフ・バランス実現への取り組みを促す情報提供を行う。			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	A	B	A	A	

SDGsのゴール				
5	8	9	10	

1 事業の目的

職場における男女共同参画意識を向上させ、個々の能力を発揮できる環境づくりを支援する。男女ともに職業生活と家庭生活の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関する情報提供を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

長時間労働の是正やワーク・ライフ・バランス、女性活躍などのテーマを複合的に取り扱った企画や研修を開催し、家庭と職業を両立できる職場の環境づくりを啓発する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 沼津市男女共同参画推進事業所フォローアップセミナー 日時:令和6年8月23日(火) 15時00分～16時30分 場所:沼津市役所 801・802会議室 講師:特定社会保険労務士 塩崎 久美子 氏 参加者:28人 内容:登録済みの男女共同参画推進事業所について、さらなる取り組みの推進のためにフォローアップを図るもの。「現在の働き方(職場で評価されている人の働き方とその理由)」、「これからの働き方(自分の希望する働き方と職場のあり方)」及び「会社として何を選択していくか」の3つをテーマに、講義とグループワークを行った。
評価/改善点	<ul style="list-style-type: none"> 推進事業所から取り組みの推進について悩んでいるような声も上がっていたため、それに応える形で取り組みを充実させるきっかけとすることができた。 グループワークを行うことにより、推進事業所どうしで交流することができ、男女共同参画の推進に関する情報交換などにつながった。 推進事業所からは他のテーマ含め様々な情報提供についての希望もあり、引き続き取り組みを進める。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	・男女ともに、仕事と家庭の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関するセミナーを開催した。
	成果指標 週60時間以上の労働者の割合 (沼津市男女共同参画推進認定事業所)	-	-	長時間労働者/総労働者数 (R6アンケート調査)	
4年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	・男女ともに、仕事と家庭の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関するセミナーを開催した。
	成果指標 週60時間以上の労働者の割合 (沼津市男女共同参画推進認定事業所)	-	-	長時間労働者/総労働者数 (R6アンケート調査)	
5年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	・男女ともに、仕事と家庭の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関するセミナーを開催した。
	成果指標 週60時間以上の労働者の割合 (沼津市男女共同参画推進認定事業所)	-	-	長時間労働者/総労働者数 (R6アンケート調査)	
6年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度	1	1回/年度	・男女ともに、仕事と家庭の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関するセミナーを開催した。
	成果指標 週60時間以上の労働者の割合 (沼津市男女共同参画推進認定事業所)	5%以下	-	長時間労働者/総労働者数 (R6アンケート調査)	
7年度	活動指標 セミナー開催数	1回/年度		1回/年度	・仕事と家庭の両立を図るために、働き方改革やワーク・ライフ・バランスなどに関するセミナーの開催 ・沼津市男女共同参画推進認定事業所アンケート調査を実施する(週60時間以上の労働者の割合)
	成果指標 週60時間以上の労働者の割合 (沼津市男女共同参画推進認定事業所)	5%以下		長時間労働者/総労働者数 (R6アンケート調査)	

5 連携が必要な機関

1	商工振興課	庁内
2	沼津商工会議所	事業所
3	男女共同参画推進認定事業所	事業所
4	静岡県	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大中のセミナー開催や対面による相談は困難が予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	青木(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	8	20	多様な選択を可能にするキャリア教育の推進					小中学校において、男女共同参画の視点を取り入れた職業講話を実施。また、民間事業所が行う児童生徒へのキャリア教育講話との協働を図る。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール					
4	5	8	10	11	

1 事業の目的

児童・生徒が自分らしく生きていくため、男女共同参画の視点を持って主体的に進路選び、職業を選択する力を育てる。また、その学習から男女平等の意識や一人ひとりの人権を尊重する大切さを学ぶ。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

講話内容に「男性・女性でそれぞれ活躍している例」「異性の多い職業に就いたきっかけ」「性別にかかわらない採用・配置」などを取り入れ、男女共同参画の視点の少ない職業紹介に終始しないよう留意する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>開催校数:小学校7校(第一、第二、第三、沢田、静浦、大岡南、愛鷹) 中学校4校(第三、原、浮島、今沢) 合計11校(目標値に対する実績)</p> <p>実施回数:小学校8回(※第三小2回)、中学校4回 合計12回 受講人数:小学校417人、中学校325人 合計742人</p> <p>講師:看護師、保育士、警察官、消防士、自衛隊員、デザイナー、金融業、製造業、建設業、市職員など (男女共同参画推進認定事業所などより講師派遣依頼を行った)</p>
評価/改善点	<p>前年度と比較すると1校減であったが、市職員(女性技術職員)を派遣することができた。開催校減は、通常授業、学校行事との兼ね合いから、講話のための時間を各校で確保するのが難しかったことも要因のひとつと考えられる。</p> <p>性別にとらわれずに、将来の夢や進路について幅広く選択する学習の機会を提供できることは、児童生徒にとって多くの学びとなり、講師に向けた手紙でも読み取ることができた。</p> <p>単なるキャリア教育とならないよう、学校側に男女共同参画の視点による意識付けを求め、講師にも男女ともに働きやすい職場環境改善の取り組みなどを講話内容としてご協力いただいている。教育分野・家庭分野が、横断的に効果が波及するよう取り組んでいく。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 職業講話開催校数	21	11	11校/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の依頼に基づき、講師を派遣し、男女共同参画の視点からの職業講話を実施した。 ・講師派遣の協力先の拡充を図った。
	成果指標 職業講話開催校数	50%	26.8% (11/41)	実施校数/市内公立小中学校	
4年度	活動指標 職業講話開催校数	21	15	15校/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の依頼に基づき、講師を派遣し、男女共同参画の視点からの職業講話を実施した。 ・講師派遣の協力先の拡充を図った。
	成果指標 職業講話開催校数	52%	36.5% (15/41)	実施校数/市内公立小中学校	
5年度	活動指標 職業講話開催校数	21	12	12校/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の依頼に基づき、講師を派遣し、男女共同参画の視点からの職業講話を実施した。 ・講師派遣の協力先の拡充を図った。
	成果指標 職業講話開催校数	54%	29.2% (12/41)	実施校数/市内公立小中学校	
6年度	活動指標 職業講話開催校数	21	11	○校/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の依頼に基づき、講師を派遣し、男女共同参画の視点からの職業講話を実施した。 ・講師派遣の協力先の拡充を図った。
	成果指標 職業講話開催校数	57%	26.8% (11/41)	実施校数/市内公立小中学校	
7年度	活動指標 職業講話開催校数	21		○校/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の依頼に基づき、講師を派遣し、男女共同参画の視点からの職業講話を実施する。 ・講師派遣の協力先の拡充を図る。
	成果指標 職業講話開催校数	60%		実施校数/市内公立小中学校	

5 連携が必要な機関

1	学校教育課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	授業の遅れや感染拡大防止の観点から、講師派遣希望が減少することが予想されるため、実施校の講話内容を周知する方法を検討している。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	横井(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	9	21	地域活動や市民活動への男女の対等な参画拡大					地域に人のつながりを生み出す取り組みや交流の場づくり、新たなビジネスチャンスの創出など、民間主体の地域活性化の取り組みを支援する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	B	B	B	
実績	A	B	A	B	

SDGsのゴール				
5	11	17		

1 事業の目的

市民や事業者の自発的な「まちづくり活動」を支援し、持続可能なものとしていくことで、民間主導によるまちづくりの活性化を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

女性の起業家育成につながるネットワークの構築やセミナー開催のほか、子育て支援・子育てママのネットワークづくりなど、女性活躍に係る多様な問題の解消が見込まれる活動を推進するため、企画レベルの段階から支援を行い、それぞれの活動の実現化を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	令和6年度より、新たに「沼津市民間まちづくり活動支援事業(マチカツ)」として、まちづくり活動を支援した。 令和6年3月～4月までに当初募集を行い、12事業を採択した。 令和6年7月に二次募集を行い、4事業を採択した。 随時募集を行い、4事業を採択した。 そのうち、女性活躍の推進に係る活動は1件採択した。 子育てサロン sorairo
評価／改善点	・沼津市民間まちづくり活動支援事業への移行に当たり、新たに学生を対象とした部門「学生チャレンジ」を設け、幅広い年代でまちづくり活動が行われた一方で、女性活躍の推進に係る申請は前年度から減少した(前年度:3件) ・今後、性別・年代関係なく、幅広く応募してもらえるような取組を検討していく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 まちづくりファンド事業の募集	1回/年度	2回/年度	回/年度	当初募集:R2年12月8日～R3年1月22日 審査:2月21日 採択通知:3月25日 追加募集(ハード):R3年6月9日～10月31日 女性活躍の推進に係る活動事例紹介
	成果指標 女性活躍の推進に係る活動の採択数	5件	6件	件/年度	
4年度	活動指標 まちづくりファンド事業の募集	1回/年度	2回/年度	回/年度	当初募集:R3年12月8日～R4年1月21日 審査:2月20日 採択通知:3月28日 追加募集(ハード):R4年6月8日～10月31日 女性活躍の推進に係る活動事例紹介
	成果指標 女性活躍の推進に係る活動の採択数	6件	1件	件/年度	
5年度	活動指標 まちづくりファンド事業の募集	1回/年度 (R5年度終了)	2回/年度	回/年度	当初募集:R4年12月8日～R5年1月27日 審査:3月5日 採択通知:3月28日 追加募集:R5年6月8日～6月30日 女性活躍の推進に係る活動事例紹介
	成果指標 女性活躍の推進に係る活動の採択数	(R5年度終了)	8件	3件	件/年度
6年度	活動指標 沼津市民間まちづくり活動支援事業の募集	1回/年度	2回/年度	回/年度	募集期間:①3月21日～4月30日・②7月1日～31日 審査:①5月26日・8月31日 採択通知:①5月17・31日・②9月3日 女性活躍の推進に係る活動事例紹介
	成果指標 女性活躍の推進に係る活動の採択数	8件	1件	件/年度	
7年度	活動指標 沼津市民間まちづくり活動支援事業の募集	1回/年度		回/年度	
	成果指標 女性活躍の推進に係る活動の採択数	8件		件/年度	

5 連携が必要な機関

1	関係各課	庁内
2	市民・活動団体	NPO等
3	市民・活動団体	自治会
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新しい生活様式への対応の一環として、SNS等のインターネットによるソーシャルスキルが活動者や職員による支援が求められる。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	横井(2283)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	9	22	NPO・ボランティア団体等の情報発信及び活動支援					NPO活動へ市民参加促進のため、男女共同参画の視点を取り入れたNPO活動に関する学習機会の情報を発信する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	11	17		

1 事業の目的

NPO活動に関する学習機会の情報を発信することで、市民等にNPO活動を周知し、参加促進の機会を提供する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

NPO活動は、男女が社会進出する機会の一つの場であるため、広く市民に周知できる機会を提供する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>①市HPを随時更新し、最新情報を提供した。併せて内閣府にも随時最新情報を提供し、HPから閲覧できるようにしている。 沼津市が所管するNPO法人数:74法人(令和7年3月末現在)</p> <p>②定款の見直しと役員変更についての講座と、協力を得るためのヒントについての講座を開催した。 開催実績:2回(R6)</p> <p>③NPO法人に市主催男女共同参画事業の周知や関係するイベントやセミナーの情報提供を行った。</p> <p>④ぬまづまちビカ応援隊制度を実施した。 実施実績:33団体(R6) 美化活動を行う市民協働の活動について、市が傷害保険に加入し、参加者が安心して活動できるように支援を行った。</p>
評価/改善点	<p>・定款の見直しと役員変更についての講座を開催した。これらに係る煩雑な事務を円滑に処理できるようになることで、団体の運営事務の負担を軽減し、さらなる活動へ運営資源の集中を可能とすることを図った。</p> <p>・「ぬまづまちビカ応援隊制度」については継続して実施し、看板の啓発看板の設置を増やしていくことで、事業の周知を図っていく。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	NPO法人への情報提供	6ヶ月に1回程度	1	提供回数
	成果指標	NPO法人への情報提供	6月に1回程度	1	提供回数
4年度	活動指標	NPO法人への情報提供	6ヶ月に1回程度	2	提供回数
	成果指標	NPO法人への情報提供	6ヶ月に1回程度	2	提供回数
5年度	活動指標	NPO法人への情報提供	6ヶ月に1回程度	2	提供回数
	成果指標	NPO法人への情報提供	6ヶ月に1回程度	2	提供回数
6年度	活動指標	NPO法人への情報提供	4ヶ月に1回程度	2	提供回数
	成果指標	NPO法人への情報提供	4ヶ月に1回程度	2	提供回数
7年度	活動指標	NPO法人への情報提供	4ヶ月に1回程度		提供回数
	成果指標	NPO法人への情報提供	4ヶ月に1回程度		提供回数

5 連携が必要な機関

1 庁内各課	府内
2 ふじの国NPOセンター	国・県
3 各NPO法人	NPO等
4 NPO活動を行う人・団体	個人等

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	NPO活動は対面活動が多くいたため、活動の規模や量の縮小が予想される。
			"

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 地域振興係
担当者(電話)	中村(2274)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容			
IV	V	9	21	地域活動や市民活動への男女の対等な参画拡大					「地域リーダー養成講座」などへの女性の参加を促進し、自治会や地域コミュニティにおける女性の積極的な参画を支援する。	

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	11	17		

1 事業の目的

自治会やコミュニティ活動などに多くの女性が参画できるよう支援し、地域における男女の役割が対等かつ均等なものとなるよう促進していく。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

自治会やコミュニティ組織において、リーダー的な役職をはじめ、分野により男女構成に偏りが見られるため、女性が広く参画できるような環境づくりを促していく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県コミュニティづくり推進協議会主催「コミュニティカレッジ」参加者3人 うち女性1人 ・市主催「ぬまづ地域コミュニティ人材育成講座」※令和3年度から年2回シリーズとして開催 午前の部(令和7年2月1日開催) 参加者41人 うち女性11人 午後の部(令和7年2月1日開催) 参加者30人 うち女性4人 ・自治会、コミュニティ等を対象にした男女共同参画研修に参加した。 実績:男女共同参画講座 片浜地区 2回計画 金岡地区 4回計画 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を第一地区連合自治会内で組回覧等実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に対する意識は年々高まっており、特に「男女共同参画講座」を開催した地区においては高い意識で事業実施に生かされている。 ・金岡地区では、講座での学びを実践するため、既存の避難所運営マニュアルの見直しを実施していく予定である。 ・人材育成講座は、令和3年度からは年2回開催していくこととしており、参加者募集の際、各地区にて女性の参加を呼び掛けるとともに、Zoomによる参加やどちらか1回の講座でも参加を可としたことから、多くの方に出席いただくことができた。 ・女性自治会長の数は、令和5年度の12人から令和6年度は11人と微減となったが、以前に比べて多い水準にあり、「自治会活動は男性が行うもの」という考えが変化してきたことの表れの一つと考えられる。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 コミュニティカレッジへの女性の参加人数 人材育成講座への女性の参加人数	1人/10人 8人/70人	1人/7人 14人/90人(延べ人数)	講座への女性の参加者数/参加者総数	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー養成講座である県コミュニティづくり推進協議会主催の「コミュニティカレッジ」及び市主催の人材育成講座への女性の参加について、各自治会及びコミュニティ推進委員会を通じて呼びかけた。 ・自治会、コミュニティ等を対象に開催する男女共同参画研修への参加を促した。 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を自治会内で組回覧し、男女共同参画への意識の醸成を図った。
	成果指標 女性の連合自治会長及び単位自治会長の数	10人/318人	13人/315人	女性の連合及び単位自治会長数/連合・単位自治会長の総数	
4年度	活動指標 コミュニティカレッジへの女性の参加人数 人材育成講座への女性の参加人数	2人/10人 10人/70人	2人/3人 13人/106人(延べ人数)	講座への女性の参加者数/参加者総数	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー養成講座である県コミュニティづくり推進協議会主催の「コミュニティカレッジ」及び市主催の人材育成講座への女性の参加について、各自治会及びコミュニティ推進委員会を通じて呼びかけた。 ・自治会、コミュニティ等を対象に開催する男女共同参画研修への参加を促した。 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を自治会連合会に配布し、男女共同参画への意識の醸成を図った。
	成果指標 女性の連合自治会長及び単位自治会長の数	11人/318人	11人/314人	女性の連合及び単位自治会長数/連合・単位自治会長の総数	
5年度	活動指標 コミュニティカレッジへの女性の参加人数 人材育成講座への女性の参加人数	3人/10人 11人/70人	3人/6人 14人/98人(延べ人数)	講座への女性の参加者数/参加者総数	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、コミュニティ等を対象に開催する男女共同参画研修への参加を促す。 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を自治会連合会に配布し、男女共同参画への意識の醸成を図る。 ・地域リーダー養成講座である県コミュニティづくり推進協議会主催の「コミュニティカレッジ」及び市主催の人材育成講座に女性の参加を促す。
	成果指標 女性の連合自治会長及び単位自治会長の数	12人/318人	12人/313人	女性の連合及び単位自治会長数/連合・単位自治会長の総数	
6年度	活動指標 コミュニティカレッジへの女性の参加人数 人材育成講座への女性の参加人数	4人/10人 13人/70人	1人/3人 15人/71人(延べ人数)	講座への女性の参加者数/参加者総数	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、コミュニティ等を対象に開催する男女共同参画研修への参加を促す。 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を自治会連合会に配布し、男女共同参画への意識の醸成を図る。 ・地域リーダー養成講座である県コミュニティづくり推進協議会主催の「コミュニティカレッジ」及び市主催の人材育成講座に女性の参加を促す。
	成果指標 女性の連合自治会長及び単位自治会長の数	15人/318人	11人/315人	女性の連合及び単位自治会長数/連合・単位自治会長の総数	
7年度	活動指標 コミュニティカレッジへの女性の参加人数 人材育成講座への女性の参加人数	5人/10人 15人/70人		講座への女性の参加者数/参加者総数	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、コミュニティ等を対象に開催する男女共同参画研修への参加を促す。 ・沼津市男女共同参画情報紙「ハーモニー」を自治会連合会に配布し、男女共同参画への意識の醸成を図る。 ・地域リーダー養成講座である県コミュニティづくり推進協議会主催の「コミュニティカレッジ」及び市主催の人材育成講座に女性の参加を促す。
	成果指標 女性の連合自治会長及び単位自治会長の数	15人/318人		女性の連合及び単位自治会長数/連合・単位自治会長の総数	

5 連携が必要な機関

1	静岡県コミュニティづくり推進協議会	国・県
2	各地区連合自治会・単位自治会	自治会
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナの影響で、各種講座の開催の見通しが不確実である。
------	---	----	-------------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 地域振興係
担当者(電話)	中村(2274)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	9	21	地域活動や市民活動への男女の対等な参画拡大					地域コミュニティ自らが取り組む地域資源を活かしたまちづくり活動において、企画運営への女性の参画を働きかけ、多様な意見やアイデア等の反映を促す。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	11	17		

1 事業の目的

各地区コミュニティ等で地域活性化に取り組むにあたり、女性の視点を取り入れた活動で、女性が参加しやすいものとしていく。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

地域活性化にとって女性や若い世代の参加が成功のカギとも言わることから、企画立案段階から男女共同参画の視点で、多様な意見や思考を取り入れられるように各コミュニティに働きかけていく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化事業を行ううえで、女性や若い世代の参加が成功のカギとなっていることから、企画立案の段階から男女共同参画の視点が取り入れられるように各コミュニティに働きかけを行った。 <p>第三地区 47人中女性6人(伝統行事の継承による地域活性化事業) 今沢地区 78人中女性26人(今沢地区 地域の宝! 今沢地区センター・今沢中央公園を活用したイベント促進事業) 金岡地区 29人中女性4人(地域の賑わいを創出! コミュニティ活性化事業) 大岡地区 35人中女性5人(地域行事を活かしたコミュニティ活性化事業)</p>
評価/改善点	<ul style="list-style-type: none"> 地域における温度差はあるものの、コミュニティのイベント等で女性や若者の意見が重要であることについての理解は進んでいる。 一方で、女性や若者自身がコミュニティ活動に対し消極的な面があることから「どのように女性や若者を巻き込んでいいのか分からない。」という声が依然としてある。 市としては、人材育成講座での好事例紹介やハーモニー等広報紙での啓発に引き続き力を入れていく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	実施団体に対する周知回数	4地区×1回	4地区×1回	・地区コミュニティで地域活性化事業(地域資源を活かして取り組む地域おこし事業)を実施する際に、事業当初から女性がメンバーとして活動できるようコミュニティに働きかけた。
	成果指標	地域活性化事業の運営に参画した女性の数	15人/120人	25人/110人	
4年度	活動指標	実施団体に対する周知回数	4地区×1回	4地区×1回	・地区コミュニティで地域活性化事業(地域資源を活かして取り組む地域おこし事業)を実施する際に、事業当初から女性がメンバーとして活動できるようコミュニティに働きかけた。
	成果指標	地域活性化事業の運営に参画した女性の数	20人/120人	20人/147人	
5年度	活動指標	実施団体に対する周知回数	4地区×1回	4地区×1回	・地区コミュニティで地域活性化事業(地域資源を活かして取り組む地域おこし事業)を実施する際に、事業当初から女性がメンバーとして活動できるようコミュニティに働きかける。
	成果指標	地域活性化事業の運営に参画した女性の数	23人/120人	40人/193人	
6年度	活動指標	実施団体に対する周知回数	4地区×1回	4地区×1回	・地区コミュニティで地域活性化事業(地域資源を活かして取り組む地域おこし事業)を実施する際に、事業当初から女性がメンバーとして活動できるようコミュニティに働きかける。
	成果指標	地域活性化事業の運営に参画した女性の数	26人/120人	41人/189人	
7年度	活動指標	実施団体に対する周知回数	4地区×1回		・地区コミュニティで地域活性化事業(地域資源を活かして取り組む地域おこし事業)を実施する際に、事業当初から女性がメンバーとして活動できるようコミュニティに働きかける。
	成果指標	地域活性化事業の運営に参画した女性の数	30人/120人		

5 連携が必要な機関

1	各地区コミュニティ推進委員会	NPO等
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	地域活性化事業は地域おこし系の交流行事・イベントが主となるため、新型コロナの影響で実施の是非を含め、事業の内容が左右されやすい。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課
担当者(電話)	後藤(2278)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
VI	10	25	男女共同参画に関する国際的情報の収集・提供			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	D	B	B	B		3 5 10
実績	C	B	B	B		

1 事業の目的

在住外国人と市民が文化等の交流を通じて相互理解を深め、多文化共生社会の実現に向けた市民意識の高揚を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

諸外国の多様な文化や価値観から女性の活躍や性別役割分担の現状などについて考える機会を提供する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	県 多文化共生課や他市町との情報交換会、国際交流団体等の関係機関からの情報提供、新聞・ニュースなどから国際情勢や在住外国人の生活に必要な情報を随時収集し、日々の生活相談等の中でチラシ配布やSNSへの掲載により情報提供を実施した。
評価／改善点	・概ね計画通りの取り組みができた。 ・今後も引き続き、各方面からの情報を幅広く収集し、多くの在住外国人に対し情報を発信して行く。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	SNSでの外国人向け男女共同参画に関する情報発信回数	年1回以上	1	実績値	男女共同参画週間のPR
	成果指標	外国人に対する「男女共同参画」に関する認知度	モニタリング指標	なし	アンケート調査(市役所来庁者、日本語教室、各種イベントの参加者等を対象)	
4年度	活動指標	同上	同上	1	同上	男女共同参画週間のPR
	成果指標	同上	同上	なし	同上	
5年度	活動指標	同上	同上	1	同上	男女共同参画週間に合わせ、Facebook「おしえて ぬまづ」で男女共同参画に関する情報発信を行う。
	成果指標	同上	同上	なし	同上	
6年度	活動指標	同上	同上	1	同上	男女共同参画週間に合わせ、Facebook「おしえて ぬまづ」で男女共同参画に関する情報発信を行う。
	成果指標	同上	同上	なし	同上	
7年度	活動指標	同上	同上		同上	同上
	成果指標	同上	同上		同上	

5 連携が必要な機関

1	内閣府男女共同参画局	国・県
2	県男女共同参画課	国・県
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	理由	7

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課
担当者(電話)	後藤(2278)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
VI	10	26	多様な文化や価値観に理解を深めるための国際交流促進				在住外国人と市民との交流事業「国際交流フェア」の実施により、国際理解・異文化理解を深めるとともに、国際的視野で男女共同参画についての理解を深める。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	D	B	B	B		5 10 11 17
実績	C	B	B	B		

1 事業の目的

在住外国人と市民が文化等の交流を通じて相互理解を深め、多文化共生社会の実現に向けた市民意識の高揚を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

諸外国の多様な文化や価値観から女性の活躍や性別役割分担の現状などについて考える機会を提供する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>【取組状況】 ・在住外国人と市民とが、相互理解を深めるとともに国際化意識を醸成することを目的とし、国際交流フェアを実施した。</p> <p>【実績】 ・12/15実施 参加者数600人 ブース出展数19 ステージ数11</p>
評価／改善点	<p>・昨年度と同様プラサヴェルデで開催をした。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	国際交流フェア参加者・来場者数	500人	なし	実数値	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際交流フェア中止。
	成果指標	国際交流への関心が「高まった」「非常に高まった」とする割合	98.2%	なし	参加者アンケート	
4年度	活動指標	同上	600人	400人	同上	・国際交流フェアを開催した。 10/16実施 参加者数400人 ブース出展数8 ステージ数6
	成果指標	同上	98.6%	93.6%	同上	
5年度	活動指標	同上	600人	500人	同上	・国際交流フェアを開催した。 11/23実施 参加者数500人 ブース出展数18 ステージ数12
	成果指標	同上	98.6%	99.3%	同上	
6年度	活動指標	同上	600人	600	同上	・国際交流フェアを開催した。 12/15実施 参加者数600人 ブース出展数19 ステージ数11
	成果指標	同上	98.8%	95.9%	同上	
7年度	活動指標		600人		同上	
	成果指標		99.0%		同上	

5 連携が必要な機関

1	沼津国際交流協会	NPO等
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	理由	
8		

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課
担当者(電話)	後藤(2278)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
VI	10	27	在住外国人の地域参画支援と相談体制の充実			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	D	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	10	17	

1 事業の目的

在住外国人が地域社会の一員として、地域コミュニティ活動に参加することができるよう、必要な情報提供や各種講座の開催などにより環境の整備を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

多文化共生を推進していく中で、男女の差別やチャンスのギャップ、差別が生じないよう配慮するとともに、男女共同参画についての理解促進に努める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 窓口における4ヶ国語(英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語)の通訳体制の確保に加え、22言語対応のテレビ通訳サービスを導入している。また、総合生活相談会の開催等により、在住外国人の行政相談や生活相談に対応し支援を行った。 生活相談件数(延べ1,696件) 総合生活相談会(年3回) ・通訳・翻訳などのボランティア登録を行い、在住外国人などに対する情報提供や支援体制整備に努めた。 多文化共生ボランティア(年度末登録者113人) ・在住外国人が日本語を学ぶ場である「沼津にほんご教室」、在住外国人親子を対象とした「親子で学ぶ日本語ひろば」などを実施することにより、生活に必要な日本語や日本の生活習慣など、知識取得の支援の充実を図った。 沼津にほんご教室(毎週土曜日 13:30~15:00、40回、延べ参加者891人) 親子で学ぶ日本語ひろば(隔週日曜日 2会場計39回、延べ参加者308人、延べボランティア179人)
	<ul style="list-style-type: none"> 窓口における多言語相談窓口運営及び弁護士等専門家による総合生活相談会ともに、相談者の立場や心情に寄り添った対応に心がけたことにより、適宜適切な対応がとれたものと評価している。 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営や、在住外国人への日本語学習機会の提供については、計画通り実施できた。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	多言語相談窓口の対応件数	2,460件	2,176件	実績値	様々なイベントが中止となり、アンケート対象者は窓口に来た方がほとんどであったため、偏った結果となってしまった。
		在住外国人の地区センター利用団体登録件数	6件	6件	実績値(在住外国人が構成員に含まれる利用団体の数)	
4年度	成果指標	沼津市が住みやすいと感じる外国人住民の割合	50.0%	98.0%	アンケート調査(市役所来庁者、日本語教室、各種イベントの参加者等を対象)	・窓口における多言語相談窓口運営 ・専門家による総合生活相談会実施 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営 ・在住外国人への日本語学習機会の提供
	活動指標	同上	2,470件	2430件	同上	
5年度	成果指標	同上	7件	12件	同上	・窓口における多言語相談窓口運営 ・専門家による総合生活相談会実施 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営 ・在住外国人への日本語学習機会の提供
	活動指標	同上	50.2%	93.60%	同上	
6年度	成果指標	同上	2,480件	1,883件	同上	・窓口における多言語相談窓口運営 ・専門家による総合生活相談会実施 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営 ・在住外国人への日本語学習機会の提供
	活動指標	同上	8件	27件	同上	
7年度	成果指標	同上	50.5%	98.60%	同上	・窓口における多言語相談窓口運営 ・専門家による総合生活相談会実施 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営 ・在住外国人への日本語学習機会の提供
	活動指標	同上	2,490件	1696件	同上	
			9件	15件	同上	・窓口における多言語相談窓口運営 ・専門家による総合生活相談会実施 ・多文化共生ボランティア登録制度の運営 ・在住外国人への日本語学習機会の提供
	成果指標	同上	50.7%	93.0%	同上	
	活動指標	同上	2,500件		同上	同上
			10件		同上	
	成果指標	同上	60.0%		同上	

5 連携が必要な機関

1	関係各課	府内
2	各地区センター	府内
3	地域コミュニティー	自治会
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	理由
q	

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	人事課
担当者(電話)	迫(内線2439)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容	
I II	2	5	セクハラ、マタハラ、DV等の女性への暴力防止に向けた啓発・防止対策の推進				市役所におけるハラスメントの現状を把握し、相談体制の充実とハラスメントの防止に向けた啓発を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	B	A	A	A	

SDGsのゴール				
5	8			

1 事業の目的

職員がその能力を十分に発揮し、高い士気をもって効率的に勤務できる働きやすい勤務環境を整備するため。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別に関係なくハラスメントの防止に取り組む。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	・ハラスメントの禁止、防止を職員に周知徹底させるため、全職員に対し、ハラスメント防止に関する留意事項及び相談員の設置について通知を発出した。 ・新任課長補佐級職員等を対象に、管理職としてハラスメント防止の重要性を再認識するとともに、ハラスメントの考え方や動向のほか、発生要因や予防方法について理解を深めることを目的として「ハラスメント防止研修」を令和6年5月28日に実施した。 ・12月に、全職員を対象にハラスメントに関する項目を盛り込んだコンプライアンスアンケート調査を実施した。 ・コンプライアンス推進の一環として、「コンプライアンス通信」を5月、7月、9月、11月、1月、3月に発出した。
	・令和6年度は、ハラスメントに関する相談は4件、コンプライアンスアンケート調査においてハラスメントに関する回答は5件であった。 ・今後も職員研修、相談窓口の設置とその周知、アンケート調査を継続実施し、ハラスメント防止に努める。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 啓発活動及び研修の実施	3回 ／年度	9	実施回数／年度	・相談窓口設置の周知 (職員研修時、ハラスメント相談員設置周知など) ・ハラスメントによる公務員不祥事報道等の周知 (コンプライアンス通信発信 5回／年) ・ハラスメントに関する相談件数7件、全て対応済
	成果指標 ハラスメントに関する相談の解決率(匿名による申出を除く)	100.0%	100.0%	解決件数／相談件数	
4年度	活動指標 啓発活動及び研修の実施	3回 ／年度	7	実施回数／年度	・相談窓口設置の周知(ハラスメント相談員設置周知など) ・ハラスメント防止研修の実施(7/21) ・ハラスメントアンケートの実施(12/19～12/28) ・ハラスメントによる公務員不祥事報道等の周知 (コンプライアンス通信発信 4回／年) ・ハラスメントに関する相談件数1件、ハラスメントアンケートに関する回答18件、全て対応済
	成果指標 ハラスメントに関する相談の解決率(匿名による申出を除く)	100.0%	100%	解決件数／相談件数	
5年度	活動指標 啓発活動及び研修の実施	3回 ／年度	9	実施回数／年度	・相談窓口設置の周知(ハラスメント相談員設置周知など) ・ハラスメント防止研修の実施(9/8) ・ハラスメントアンケートの実施(12/1～12/15) ・ハラスメントによる公務員不祥事報道等の周知 (コンプライアンス通信発信 6回／年) ・ハラスメントに関する相談件数4件(全て対応済)、コンプライアンスアンケート調査におけるハラスメントに関する回答8件(匿名であり個別の相談はなかった)
	成果指標 ハラスメントに関する相談の解決率(匿名による申出を除く)	100.0%	100%	解決件数／相談件数	
6年度	活動指標 啓発活動及び研修の実施	3回 ／年度	9	実施回数／年度	・相談窓口設置の周知(ハラスメント相談員設置周知など) ・ハラスメント防止研修の実施(5/28) ・ハラスメントアンケートの実施(12/2～12/13) ・ハラスメントによる公務員不祥事報道等の周知 (コンプライアンス通信発信 6回／年) ・ハラスメントに関する相談件数4件(全て対応済)、コンプライアンスアンケート調査におけるハラスメントに関する回答5件(匿名であり個別の相談はなかった)
	成果指標 ハラスメントに関する相談の解決率(匿名による申出を除く)	100.0%	100%	解決件数／相談件数	
7年度	活動指標 啓発活動及び研修の実施	3回 ／年度		実施回数／年度	〃
	成果指標 ハラスメントに関する相談の解決率(匿名による申出を除く)	100.0%		解決件数／相談件数	

5 連携が必要な機関

1	ハラスメント相談員	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由
20		

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	人事課
担当者(電話)	迫(内線2439)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
III	4	10	市役所・教育の場における女性の積極的登用			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8	11		

1 事業の目的	2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ
女性職員の管理職への積極的登用を図るため。	性別に固定した観念を排除し、適材適所の基本的な考え方を踏まえつつ女性の登用と職域の拡大を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> 女性職員について、市町等人事交流及び県等が主催する研修へ、積極的な派遣に努めた。 管理職登用について、性別に因らない適材適所の人員配置に努めた。 <p>■派遣研修における女性割合 ①沼津市・富士市人事交流1人/1人(100%)、②駿東伊豆消防組合人事交流1人/1人(100%)、③静岡県建設技術管理センター主催研修(1~3日間) 2人/7人(28.6%)、④人材マネジメント部会(8日間)1人/3人(33.3%)、⑤(一財)企業経営研究所主催MBA研修(3日間)1人/1人(100%)、⑥静岡県市職員研修協議会東部ブロック研修(1日間)1人/3人(33.3%)、⑦富士市主催研修(1日間)4人/8人(50%)、⑧電話応対コンクール(2日間)6人/10人(60%) ■女性管理職登用率 •R7.4.1 女性登用率(課長以上) 14.1%(14人/99人) •R6.4.1 女性登用率(課長以上) 15.2%(15人/99人) •R7.4.1 女性登用率(係長以上) 29.5%(169人/572人) •R6.4.1 女性登用率(係長以上) 29.9%(169人/565人)</p> <p>■評価／改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性の派遣研修への参加促進を図り、女性職員のキャリア形成の一助となるよう取組を行った。 人事異動について、性別に因らない適材適所の配置に努めた。
--------------------------	---

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	女性の職業選択に資する情報の公表	1回／年度	1	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性職員の各種研修への参加の促進を図った。 人事課で実施する人事異動の際、管理職への女性職員の登用率が目標値を下回らないよう登用を行った。 ※教育職、消防職等については人事異動に携わることができないため対象から除外
	成果指標	①女性職員の庁外研修への参加	7研修／年度	6	参加研修数／年度	
4年度	活動指標	女性の職業選択に資する情報の公表	1回／年度	1	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 女性職員の各種研修への参加の促進を図った。 管理職の女性登用率について、概ね目標値となるよう登用を行った。
	成果指標	①女性職員の庁外研修への参加	8研修／年度	6	参加研修数／年度	
5年度	活動指標	女性の職業選択に資する情報の公表	1回／年度	1	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 職種を問わず組織管理やスキルアップに資する研修へ積極的に抜擢する等、女性職員の研修参加の促進を図った。 管理職の女性登用率について、性別に因らない適材適所の配置に努めた。
	成果指標	①女性職員の庁外研修への参加	10研修／年度	9	参加研修数／年度	
6年度	活動指標	女性の職業選択に資する情報の公表	1回／年度	1	1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 職種を問わず組織管理やスキルアップに資する研修へ積極的に抜擢する等、女性職員の研修参加の促進を図った。 管理職の女性登用率について、性別に因らない適材適所の配置に努めた。
	成果指標	①女性職員の庁外研修への参加	11研修／年度	8	参加研修数／年度	
7年度	活動指標	女性の職業選択に資する情報の公表	1回／年度		1回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 〃
	成果指標	①女性職員の庁外研修への参加	12研修／年度		参加研修数／年度	
		②女性職員の管理職登用率	19%	14.1%	女性管理職者数／管理職者数(教育職、消防職等を除く)	
		②女性職員の管理職登用率	19%	15.2%	女性管理職者数／管理職者数(教育職、消防職等を除く)	

5 連携が必要な機関	6 新型コロナ以降の課題
1	
2	
3	
4	

懸念事項	なし	理由
2		

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	人事課
担当者(電話)	迫(内線2439)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
IV V	7	18	男性の働き方と職場風土の改革			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8			

1 事業の目的

職員のワーク・ライフ・バランスの実現や働き方改革の推進のため。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

時間外勤務時間を削減するとともに、休暇制度やシフト勤務等を活用し、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修等における休暇制度等の説明、及び年次有給休暇の年5日取得について職員への周知を行った。 シフト勤務(試行)を実施し、ワーク・ライフ・バランスの実現、公務能率の向上及び時間外勤務の適正化を図った。 長時間労働の是正を再認識させるとともに、職員に対する健康管理意識の向上を図るため、他律的業務の比重が高い部署への協議依頼と時間外短縮方針を通じし、職員の時間外勤務の適正化を図った。 在宅勤務(テレワーク)試行実施を継続し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け検討を進めた。 <p>■男性育児休業取得</p> <p>・令和5年度 93.8%(総務省 勤務条件調査)</p>
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 男性育休について、取得促進の取組を実施し、取得者数の増加に繋がった。

4 計画期間内の取組内容

年度		目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 職員への休暇制度や取得促進の周知	2回／年度	4	2回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種休暇の周知及び年次有給休暇の積極的取得への啓発を行った。 定期的な時間外勤務実績確認と、恒常的に長時間時間外勤務実施となる職員の所属長への改善依頼を図った。
	成果指標 ①年次休暇取得率 ②上限時間時間外勤務者率	87.5% 7.0%	94.3% 11.8%	年5日以上の年次休暇を取得した職員数／職員数 年360時間を超える時間外勤務をした職員数／職員数	
4年度	活動指標 職員への休暇制度や取得促進の周知	2回／年度	5	2回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種休暇の周知及び年次有給休暇の積極的取得への啓発を行った。 定期的な時間外勤務実績確認と、恒常的に長時間時間外勤務実施となる職員の所属長への改善依頼を図った。
	成果指標 ①年次休暇取得率 ②上限時間時間外勤務者率	90.0% 6.0%	94.8% 9.5%	年5日以上の年次休暇を取得した職員数／職員数 年360時間を超える時間外勤務をした職員数／職員数	
5年度	活動指標 職員への休暇制度や取得促進の周知	2回／年度	5回／年度	2回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種休暇の周知及び年次有給休暇の積極的取得への啓発を行った。 定期的な時間外勤務実績確認と、恒常的に長時間時間外勤務実施となる職員の所属長への改善依頼を図った。
	成果指標 ①年次休暇取得率 ②上限時間時間外勤務者率	94.0% 5.0%	93.2% 9.5%	年5日以上の年次休暇を取得した職員数／職員数 年360時間を超える時間外勤務をした職員数／職員数	
6年度	活動指標 職員への休暇制度や取得促進の周知	2回／年度	5回／年度	2回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種休暇の周知及び年次有給休暇の積極的取得への啓発を行った。 定期的な時間外勤務実績確認と、恒常的に長時間時間外勤務実施となる職員の所属長への改善依頼を図った。
	成果指標 ①年次休暇取得率 ②上限時間時間外勤務者率	97.0% 4.5%	99.0% 8.9%	年5日以上の年次休暇を取得した職員数／職員数 年360時間を超える時間外勤務をした職員数／職員数	
7年度	活動指標 職員への休暇制度や取得促進の周知	2回／年度		2回／年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種休暇の周知及び年次有給休暇の積極的取得への啓発を行った。 定期的な時間外勤務実績確認と、恒常的に長時間時間外勤務実施となる職員の所属長への改善依頼を図った。
	成果指標 ①年次休暇取得率 ②上限時間時間外勤務者率	100% 3.7%		年5日以上の年次休暇を取得した職員数／職員数 年360時間を超える時間外勤務をした職員数／職員数	

5 連携が必要な機関

1	
2	
3	
4	

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	政策企画課
担当者(電話)	大川(内2424)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	1	4	男女共同参画推進のための情報発信・情報提供					ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりの推進と出前講座の開設等による市民への意識啓発を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
10	11	17		

1 事業の目的

年齢、性別、身体、国籍などの違いを越えて、すべての人が暮らしやすいまちづくりやものづくり、環境づくりなどを推進することにより、地域の中で人と人が支え合い、健やかで心豊かに暮らせる地域社会の構築を目指す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別、身体等の違いにかかわらず、様々な人々が暮らしやすいまちづくりを推進していく。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	各課において、ハード・ソフトを含め、ユニバーサルデザインの視点に基づく合計109項目取組事項を設定し、各課の取組に対する評価を行うほか、高等学校にて出前講座を実施した。 ①取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合 100.00% ②意識啓発活動に係る出前講座 1校
評価／改善点	①取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合が前年度から約1%上昇した。目標値である100%を目指し、引き続きユニバーサルデザインの推進を図る。 ②新型コロナウィルスの影響で意識啓発活動に係る出前講座の開催を見送る状況が続いているが、昨年度は従来どおり開催することができた。引き続き啓発していく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 各課の取組事項の設定、評価	1回	1回	回/年度	・府内各課におけるユニバーサルデザインの推進に関する取組事項の設定、評価(年1回) ・ユニバーサルデザインに係る出前講座やセミナー等、意識啓発活動の実践(常時)
	成果指標 取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合	100%	97.2%	計画どおり・概ね計画どおりの件数/全体の件数	
4年度	活動指標 各課の取組事項の設定、評価	1回	1回	回/年度	・府内各課におけるユニバーサルデザインの推進に関する取組事項の設定、評価(年1回) ・ユニバーサルデザインに係る出前講座やセミナー等、意識啓発活動の実践(常時)
	成果指標 取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合	100%	98.2%	計画どおり・概ね計画どおりの件数/全体の件数	
5年度	活動指標 各課の取組事項の設定、評価	1回	1回	回/年度	・府内各課におけるユニバーサルデザインの推進に関する取組事項の設定、評価(年1回) ・ユニバーサルデザインに係る出前講座やセミナー等、意識啓発活動の実践(常時)
	成果指標 取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合	100%	99.1%	計画どおり・概ね計画どおりの件数/全体の件数	
6年度	活動指標 各課の取組事項の設定、評価	1回	1回	回/年度	・府内各課におけるユニバーサルデザインの推進に関する取組事項の設定、評価(年1回) ・ユニバーサルデザインに係る出前講座やセミナー等、意識啓発活動の実践(常時)
	成果指標 取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合	100%	100.00%	計画どおり・概ね計画どおりの件数/全体の件数	
7年度	活動指標 各課の取組事項の設定、評価	1回		回/年度	・府内各課におけるユニバーサルデザインの推進に関する取組事項の設定、評価(年1回) ・ユニバーサルデザインに係る出前講座やセミナー等、意識啓発活動の実践(常時)
	成果指標 取組評価における「計画どおり・概ね計画どおり」の割合	100%		計画どおり・概ね計画どおりの件数/全体の件数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナウィルス感染症の影響により、ユニバーサルデザインに配慮したイベントや講座の開催が困難になっているため、取組の項目として新たな対応を考えいかなければならない。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	広報課
担当者(電話)	坂本琢哉(2201)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	7	15	職場での男女共同参画意識の醸成と男女平等の促進					子育てにやさしい沼津や子育て世代のワーク・ライフ・バランスについての発信等を行う。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール				
取組状況	B	B	B	B		5 8 11 17				
実績	B	B	B	B						

1 事業の目的

安心して子育てできる環境・支援制度等を広報紙等で紹介し、子育てにやさしい沼津について発信する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

広報紙等において、沼津市における子育て世代向けの情報等の掲載や、男女共同参画に関する特集記事等を掲載する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	広報ぬまづ(年23回)において、沼津市における子育て世代向けの情報等をターゲットに分かりやすく伝えるため、「あなたの子育て応援します」と題した特集を組んで紹介したほか、子育て応援コーナーとして1/2~2ページにまとめて掲載した。 また、共同参画に関する記事も情報広場等で適時掲載した。 ・特集…1件 あなたの子育て応援します(5ページ) ・子育て応援コーナー…13件(2ページ2件、1ページ7件、1/2ページ4件) ・男女共同参画関連記事…13件(1/2ページ1件、情報ひろば12件)
	年23回発行する広報ぬまづにおいて、子育て世代向けの情報や男女共同参画に関する記事を年22回掲載することができた。引き続き、制度や仕組みがターゲットに伝わるよう、分かりやすく効果的な情報発信に努める。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	広報紙への掲載回数	18回	18回	18回／23回	「広報ぬまづ」での子育て関連及び男女共同参画に関する記事を掲載した。 ・子育て応援コーナー…13件 ・男女共同参画関連記事…15件
	成果指標					
4年度	活動指標	広報紙への掲載回数	18回	21回	21回／23回	「広報ぬまづ」での子育て関連及び男女共同参画に関する記事を掲載した。 ・子育て応援コーナー…12件 ・PNKコラボ企画…9件(4～12月 15日号) ・男女共同参画関連記事…11件
	成果指標					
5年度	活動指標	広報紙への掲載回数	18回	19回	19回／23回	「広報ぬまづ」での子育て関連及び男女共同参画に関する記事を掲載した。 ・子育て応援コーナー…12件 ・男女共同参画関連記事…10件
	成果指標					
6年度	活動指標	広報紙への掲載回数	18回	22回	22回／23回	「広報ぬまづ」での子育て関連及び男女共同参画に関する記事を掲載した。 ・子育て応援コーナー…14件 ・男女共同参画関連記事…13件
	成果指標					
7年度	活動指標	広報紙への掲載回数	18回		18回／23回	「広報ぬまづ」での子育て関連ページ、特集記事等の掲載
	成果指標					

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える
24			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	生活安心課
担当者(電話)	中野(内線2265)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
I	II	1	1	人権を尊重するための意識啓発					人権侵害などにより悩みを抱える被害者に対し、関係機関と連携し、問題解決に向けた的確・迅速な相談窓口を運営する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	10			

1 事業の目的

人権侵害などに関する悩みをかかえる市民の心の負担の軽減を図り、問題解決への糸口を提供する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女の別なく相談者の立場や心情に寄り添った対応を心がける。

3 令和5年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	【取組状況】 人権擁護委員による相談窓口を開設するとともに、様々な相談に応じる職員自身も人権問題や人権侵害に関する研修等に参加し(5回)、また日頃から情報収集に取り組むなど知識を深め、相談者に対する適切な助言に努めた。 【相談実績】 1 一般相談(月～金)8:30～17:15(6年度実績 1,010件)の内、人権侵害の被害者等からの相談実績 17件 (内訳 男性: 9件、女性: 8件) ○暴力的被害 5件【内訳】配偶者(3)、家庭内(2) ○精神的被害 5件【内訳】配偶者(5) ○その他 7件【内訳】職場のパワハラ(4)、ストーカー(1)、セクハラ(1)、暴言(1) 2 人権相談(毎月第1・3水曜日)13:00～16:00(6年度実績 5件) (内訳 男性: 5件、女性: 0件)
	評価／改善点 人権擁護委員による人権相談及び市職員による一般相談ともに、相談者の立場や心情に寄り添った対応に心がけたことにより、適切な対応がとれたものと評価している。 また、相談対応のスキルアップを図るため、前年度同様、研修等への参加機会を確保していく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 対応件数	モニタリング指標	564件	年間相談件数	一般相談(平日8:30～17:15 職員による対応) 人権相談(毎月第1・第3水曜日 13:00～16:00 人権擁護委員による対応)
	成果指標 研修会等への参加	100%	50%	参加回数/職員数	※研修会への参加については2回/4人で50%とした。 参加者は2回で延べ4名。
4年度	活動指標 対応件数	モニタリング指標	456件	年間相談件数	一般相談(平日8:30～17:15 職員による対応) 人権相談(毎月第1・第3水曜日 13:00～16:00 人権擁護委員による対応)
	成果指標 研修会等への参加	100%	80%	参加回数/職員数	※研修会への参加については4回/5人 で80%とした。 (参加者は4回で延べ5名)
5年度	活動指標 対応件数	モニタリング指標	653件	年間相談件数	一般相談(平日8:30～17:15 職員による対応) 人権相談(毎月第1・第3水曜日 13:00～16:00 人権擁護委員による対応)
	成果指標 研修会等への参加	100%	100%	参加回数/職員数	※研修会への参加については5回/5人 で100%とした。
6年度	活動指標 対応件数	モニタリング指標	1,010件	年間相談件数	一般相談(平日8:30～17:15 職員による対応) 人権相談(毎月第1・第3水曜日 13:00～16:00 人権擁護委員による対応)
	成果指標 研修会等への参加	100%	180%	参加回数/職員数	※研修会への参加については9回/5人 で180%とした。
7年度	活動指標 対応件数	モニタリング指標		年間相談件数	〃
	成果指標 研修会等への参加	100%		参加回数/職員数	

5 連携が必要な機関

1	社会福祉課	府内
2	地域自治課	府内
3	静岡地方法務局	国・県
4	県男女共同参画課	国・県

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	新型コロナ感染者への、偏見・差別等が発生した場合、人権擁護が必要となると考えられる。
------	---	----	--

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	ICT推進課
担当者(電話)	芹澤(内線2811)

基本理念	基本的施策	施策の方針				施策の内容
IV V	7	18	男性の働き方と職場風土の改革			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	SDGsのゴール
取組状況	B	B	B	B		
実績	B	C	B	B		8

1 事業の目的

情報化による市民サービスの向上と市の業務効率化を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

市民の「ワーク・ライフ・バランス」や市職員の「働き方改革」に寄与するため、オンライン会議等による行政サービス向上と市の業務効率化を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	(1)GIS(地理情報システム)の活用における研修 基礎編は全利用者向けに資料提供による各自の研修としたため測定不能となった。応用編は希望者の集合研修を行ったが、参加者9名の内、女性は2名であったため、女性職員の参加割合は22%であった。 (2)eラーニングによる情報セキュリティ研修 申込者134名の内、女性は29名であったため、女性職員の参加割合は22%であった。 (3)ChatGPT研修 受講者61名の内、女性は9名であったため、女性職員の参加割合は15%であった。 全体として、女性職員の参加割合は20%となり、女性正職員割合+5%(35%+5%=40%)を下回った。
評価/改善点	・研修については、引き続き女性職員の積極的な受講を促す記載を加え、受講率の向上に努めている。 ・新たなデジタルツールを効果的に活用するため、新たにChatGPT研修を実施した。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	ICT利活用を促進するための研修	1回／年度	2	研修実施回数	ICTの利活用を促進するための研修を行い、全職員、特に女性職員の積極的な参加について促した。
	成果指標	上記研修参加者における女性職員の割合	女性正職員割合+5%	53%	女性職員の参加割合	
4年度	活動指標	ICT利活用を促進するための研修	1回／年度	2	研修実施回数	ICTの利活用を促進するための研修を行い、全職員、特に女性職員の積極的な参加について促した。
	成果指標	上記研修参加者における女性職員の割合	女性正職員割合+5%	31%	女性職員の参加割合	
5年度	活動指標	ICT利活用を促進するための研修	1回／年度	2	研修実施回数	ICTの利活用を促進するための研修を行い、全職員、特に女性職員の積極的な参加について促した。
	成果指標	上記研修参加者における女性職員の割合	女性正職員割合+5%	41%	女性職員の参加割合	
6年度	活動指標	ICT利活用を促進するための研修	1回／年度	3	研修実施回数	ICTの利活用を促進するための研修を拡充し、全職員、特に女性職員の積極的な参加について促した。
	成果指標	上記研修参加者における女性職員の割合	女性正職員割合+5%	20%	女性職員の参加割合	
7年度	活動指標	ICT利活用を促進するための研修	1回／年度		研修実施回数	ICTの利活用を促進するための研修を行い、全職員、特に女性職員の積極的な参加について促す。
	成果指標	上記研修参加者における女性職員の割合	女性正職員割合+5%		女性職員の参加割合	

5 連携が必要な機関

1	全部署	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	
26			

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	資産活用課
担当者(電話)	鈴木 栄司(2395)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	9	23	男女共同参画社会に向けた地域環境整備					「沼津市公共施設マネジメント計画(H29.3策定)」に基づき、本市公共施設の最適化を図る。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	11			

1 事業の目的

市公共施設の多くが大規模改修や更新の時期を迎える中、社会情勢に沿う施設の需要の変化が見込まれるため、公共施設の最適化や維持に取り組むとともに、財政負担の軽減・平準化を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

公共施設の最適化に取り組む上で配慮すべき視点の中に「子育て環境」を掲げている。今後、各施設の維持更新計画となる「個別施設計画」の取り組みを進めることで、子育て環境に配慮した施設の最適化が進み、仕事と家庭の調和が実現していくことを期待する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度からの取組として、本市の公共建築物全体及び個々の進捗管理を図ることを目的に、施設所管課を対象に、毎年、施設ごとの運営状況や今後の更新・改修等計画を入力する「個別施設進捗管理シート」の作成を依頼している。 令和3年度末に提出された各シート(令和3年度分)については、データの取りまとめ作業を行い完了した。 令和4年度末に提出された各シート(令和4年度分)については、データの取りまとめ作業を行い完了した。 令和5年度末に提出された各シート(令和4年度分)については、データの取りまとめ作業を行い完了した。 令和6年度末に提出された各シート(令和5年度分)については、データの取りまとめ作業に着手した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 今後、令和3・4・5・6年度分の施設運営状況データの分析を行い、必要に応じて、施設所管課に対して指導・助言を行っていく。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	個別施設計画の進捗点検	1回/年	1	実施回数
	成果指標	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 施設所管課に対して、施設ごとに更新や改修等の計画をとりまとめたシートの作成を依頼した。 シートの提出を受け、データのとりまとめを行った。
4年度	活動指標	個別施設計画の進捗点検	1回/年	1	実施回数
	成果指標	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 施設所管課に対して、施設ごとに更新や改修等の計画をとりまとめたシートの作成を依頼した。 シートの提出を受け、データのとりまとめを行った。
5年度	活動指標	個別施設計画の進捗点検	1回/年	1	実施回数
	成果指標	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 施設所管課に対して、施設ごとに更新や改修等の計画をとりまとめたシートの作成を依頼した。 シートの提出を受け、データのとりまとめを行った。
6年度	活動指標	個別施設計画の進捗点検	1回/年	1	実施回数
	成果指標	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、各施設所管課に対して、施設ごとに更新や改修等の計画をとりまとめたシートの作成を依頼し、計画の進捗管理を図っていく。 第1期(～R8年)の期限を見据え、計画当初との諸条件の違いを整理する。
7年度	活動指標	個別施設計画の進捗点検	1回/年		実施回数
	成果指標	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、各施設所管課に対して、施設ごとに更新や改修等の計画をとりまとめたシートの作成を依頼し、計画の進捗管理を図っていく。 第1期(～R8年)の期限を見据え、計画当初との諸条件の違いを整理する。

5 連携が必要な機関

6 新型コロナ以降の課題

1	各施設所管課	庁内
2		
3		
4		

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	契約検査課
担当者(電話)	外山(2386)

基本理念	基本的施策	施策の方針					施策の内容				
IV	V	7	16	女性活躍に理解ある事業所の取組推進					女性の職業生活における活躍を推進している企業を評価し、優遇する。		

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8	17		

1 事業の目的

女性の職業生活における活躍を推進している企業を評価し、優遇する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・建設工事事業者の格付けにおいて「沼津市男女共同参画推進事業所」の認定を受け、申し出た事業所に加点する。
- ・総合評価競争入札における評価項目について、若手(女性)技術者を主任(監理)技術者として配置する場合などを加える。
- ・プロポーザル方式執行マニュアルの評価項目に女性活躍推進を例示する。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	平成30年度から建設工事事業者の格付けで、「沼津市男女共同参画推進事業所認定制度実施要綱」第4条に基づく「沼津市男女共同参画推進事業所」の認定を受けていて、その旨を申し出た事業所に対し加点するしくみを設けた。 平成30年度⇒4社 平成31年度⇒4社 令和2年度⇒3社 令和3年度⇒5社 令和4年度⇒4社 令和5年度⇒6社 令和6年度⇒15社 令和7年度⇒14社 ※それぞれ前年度の1月に申し出を受け、翌年度(4月から)の格付けに反映する。
評価／改善点	このしくみは平成30年度の格付けから適用を始めたものであり、令和6年度で8回目となる。 加点する条件及び点数については、当面の間継続する。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)の実施	1回/年度	1回	1回/年度	・総合評価落札方式の評価項目について、若手(女性)技術者を主任(監理)技術者として配置する場合などを加え、入札を実施した。
	成果指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)実施件数	5件/年度	25件	件数/年度	
4年度	活動指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)の実施	1回/年度	1回	1回/年度	同上
	成果指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)実施件数	5件/年度	22件	件数/年度	
5年度	活動指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)の実施	1回/年度	1回	1回/年度	同上
	成果指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)実施件数	5件/年度	27件	件数/年度	
6年度	活動指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)の実施	1回/年度	1回	1回/年度	同上
	成果指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)実施件数	5件/年度	14件	件数/年度	
7年度	活動指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)の実施	1回/年度		1回/年度	同上
	成果指標 総合評価競争入札(女性登用項目あり)実施件数	5件/年度		件数/年度	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないものと考える。
------	----	----	------------------